

授業科目	CC1G33	1単位	選択	演習	1学年後期	担当 教員	教授 中川 武					
	言葉指導法											
授業の概要	①領域「言葉」のねらいと内容について、事例をもとに理解する。 ②子どもの言葉の発達過程を、理論的かつ実践的に理解する。 ③子どもの言葉の発達を促すために、保育者として必要なスキルについて理解し、適切な環境構成とはどのようなものかを実践的に学ぶ。 ④子どもの豊かな言葉の発達を可能にするために、保育現場が抱える現代的課題を理解し、保育構想の改善に繋がられるようにする。											
	到達目標				学習成果Ⅰ		学習成果Ⅱ		学習成果Ⅲ			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 領域「言葉」について、教科書やICT等の事例をもとに、乳幼児期からのことばの発達過程を踏まえ、言葉の発達における幼児の体験の重要性を理解する。				◎	◎	○	◎		◎	○	◎	◎
2. 言葉の発達を促すために保育者が果たすべき役割について、具体的な保育場面を想定し、模擬保育によって実践的に学ぶ。				◎			◎		◎		◎	◎
3. 指導案の作成上の留意点を理解し、指導案に基づく模擬保育とその後の振り返りにより、保育内容の改善が図れるようにする。				◎	○		◎		◎	○	◎	◎
4. 領域「言葉」の特性に応じた現代的課題や幼児教育におけるICTを活用した教材の活用事例等を学び、保育者としての指導の専門性向上を目指す。中心にして、講義・映像視聴・ワークショップ・ディスカッション・ロールプレイングなどにより、領域「言葉」について理論的・実践的に学ぶ。				◎	○	○	◎	◎	◎	○	◎	◎
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照												
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習					
1	領域「言葉」とは何か（ことばを豊かに育てることとは）	シラバスおよび巻末の幼稚園教育要領、保育所保育指針 他を読んでおく。	授業の進め方や評価の方法を理解する。領域「言葉」とは何か、授業全体を通して何を学ぶかを概観する。				本時の学習内容のうち大事な点を、授業プリントを基にまとめておく。					
2	幼児教育の基本—保育者の様々な役割—	授業プリントを熟読、完成させておき、答え合わせに備える。	幼児期にふさわしい教育とはなにかについて考察する。 演習：課題ファイルに取り組む。				本時の学習内容に関する理解を深めておく。					
3	乳幼児の発達と領域「言葉」—乳幼児期のことばの発達過程—	授業プリントを熟読、完成させておき、答え合わせに備える。	乳児期から幼児期までの発生からことばのやり取りが可能となるまでの発達過程を理解する。 演習：課題ファイルに取り組む。				本時の学習内容に関する理解を深めておく。					
4	信頼関係から生み出されることば（1）	授業プリントを熟読、完成させておき、答え合わせに備える。	ことばが生み出されていく道筋とその時の保育者の役割について学ぶ。 演習：課題ファイルに取り組む。				本時の学習内容に関する理解を深めておく。					
5	信頼関係から生み出されることば（2）—アタッチメントと発達の最近接領域—	授業プリントを熟読、完成させておき、答え合わせに備える。	ことばの発達における実感を伴った体験を積み重ねることの意義について学ぶ。 演習：課題ファイルに取り組む。				本時の学習内容に関する理解を深めておく。					
6	自分の考えや思いを伝えることば（1）—保育者の役割—	授業プリントを熟読、完成させておき、答え合わせに備える。	自分とは異なる他の人の意見や考えに気づき始めた子どもたちとの接し方について学ぶ。 演習：課題ファイルに取り組む。				図書館で紙芝居を選び、読書メモを作成する。					
7	自分の考えや思いを伝えることば（2）—ことばの持つ可能性—	授業プリントを熟読、完成させておき、答え合わせに備える。	アイデンティティの確立と保育者の役割及び二次的言葉の獲得の必要性について理解を深める。 演習：課題ファイルに取り組む。				図書館で紙芝居を選び、読書メモを作成する。					
8	感情体験とことば（1）—感情体験と保育者の役割—	授業プリントを熟読、完成させておき、答え合わせに備える。	集団における多様な感情体験の場を保障する意義について理解する。 演習：課題ファイルに取り組む。				図書館で紙芝居を選び、読書メモを作成する。					
9	感情体験とことば（2）—多様な感情体験と保育者の対応—	授業プリントを熟読、完成させておき、答え合わせに備える。	仲間と意見を調整しながら話し合う場面での保育者の関わり方について理解する。 演習：課題ファイルに取り組む。				図書館で紙芝居を選び、読書メモを作成する。					
10	文字との出会い—「一次のことばと二次のことば—	授業プリントを熟読、完成させておき、答え合わせに備える。	話しことばと書きことばの特徴を理解し、子どもの発達状況を踏まえた文字の導入方法と留意点について学ぶ。 演習：課題ファイルに取り組む。				図書館で紙芝居を選び、読書メモを作成する。					
11	文字との出会い—書きことばの習得と興味・関心を育むための環境構成—	授業プリントを熟読、完成させておき、答え合わせに備える。	文字習得における基盤の存在を理解し、子どもの興味関心を育むための保育者の役割を理解する。 演習：課題ファイルに取り組む。				図書館で紙芝居を選び、読書メモを作成する。					

1 2	ごっこ遊びとことば —ごっこ遊びとことば の役割—	授業プリントを熟読、完成 させておき、答え合わせに 備える。	ごっこ遊びの意義と、ことばがごっこ遊び成立 のために不可欠な理由について理解する。 演習：課題ファイルに取り組む。	図書館で紙芝居を選び、読書 メモを作成する。
1 3	幼児教育の現代的課題 と領域「言葉」(1) —幼児教育が抱える現 代的な課題—	授業プリントを熟読、完成 させておき、答え合わせに 備える。	子どもとメディアの関わりを概観し、保育者や 大人が果たすべき役割・配慮を確認する。 演習：課題ファイルに取り組む。	図書館で紙芝居を選び、読書 メモを作成する。
1 4	幼児教育の現代的課題 と領域「言葉」(2) —ねらいと評価—	授業プリントを熟読、完成 させておき、答え合わせに 備える。	領域「言葉」が目指すものと発達の様子の評価 としての記録の分析と省察の大切さを理解する 演習：課題ファイルに取り組む。	最終課題の作成案をまとめ る。
1 5	最終課題作成	授業プリントを熟読、完成 させておき、答え合わせに 備える。	これまでの学習内容のまとめを行う。 演習：最終課題を作成・提出する。	これまでの授業について、授 業プリントと教科書を基に まとめを行っておく。
成績 評価	授業への興味・関心・態度 (30%) 課題提出 (40%) 期末試験 (30%) 合計 100%			
教員 から の コ メ ン ト	<p>① 領域「言葉」の設定目的を理解し、保育者として子どものことばを育んでいく上で、どのような専門性が必要かについて考えること。</p> <p>② 保育現場が抱える課題を理解し、保育者として子どもたちや保護者とどのように関わるかについてイメージすること。</p> <p>③ 課題ファイル（追加課題提出を含む）があります。ファイルの解答合わせを通して理解を深めること。</p>			
教科 書	書名 事例で学ぶ保育内容 領域 言葉 著者 無藤 隆 監修、高濱 裕子 編集代表 発行所 萌文書林	推薦 図書	書名 『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こ ども園教育・保育要領』／発行所 チャイルド社 「幼稚園教育要領ハンドブック 2017 年告示版」Gakken	